



2023年 5月15日

各 位

会 社 名  株式会社 日 阪 製 作 所

代 表 者 名 代表取締役社長 竹下 好和
社長執行役員

コード番号 6247

上場取引所 東証プライム

問 合 せ 先 執 行 役 員 波多野 浩史
経営企画本部本部長

電 話 番 号 06-6363-0007

新中期経営計画「G-23」の概要に関するお知らせ

当社は、2026年3月期を最終年度とする新中期経営計画「G-23」を策定しましたので、お知らせいたします。本計画の概要につきましては添付資料をご参照ください。

以 上

新中期経営計画 「G-23」



2023年5月15日

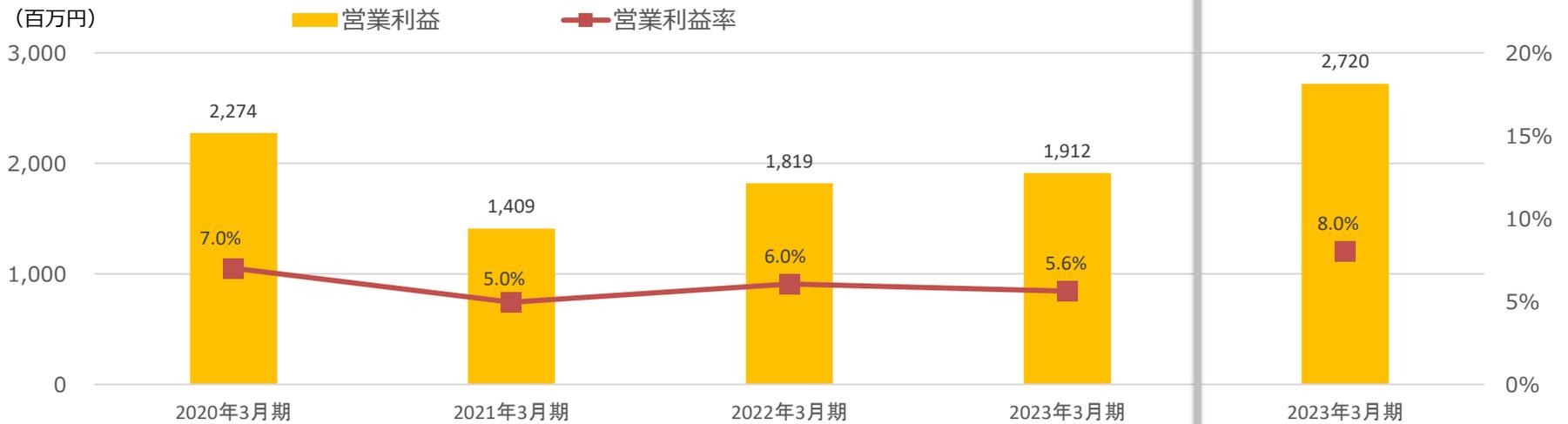
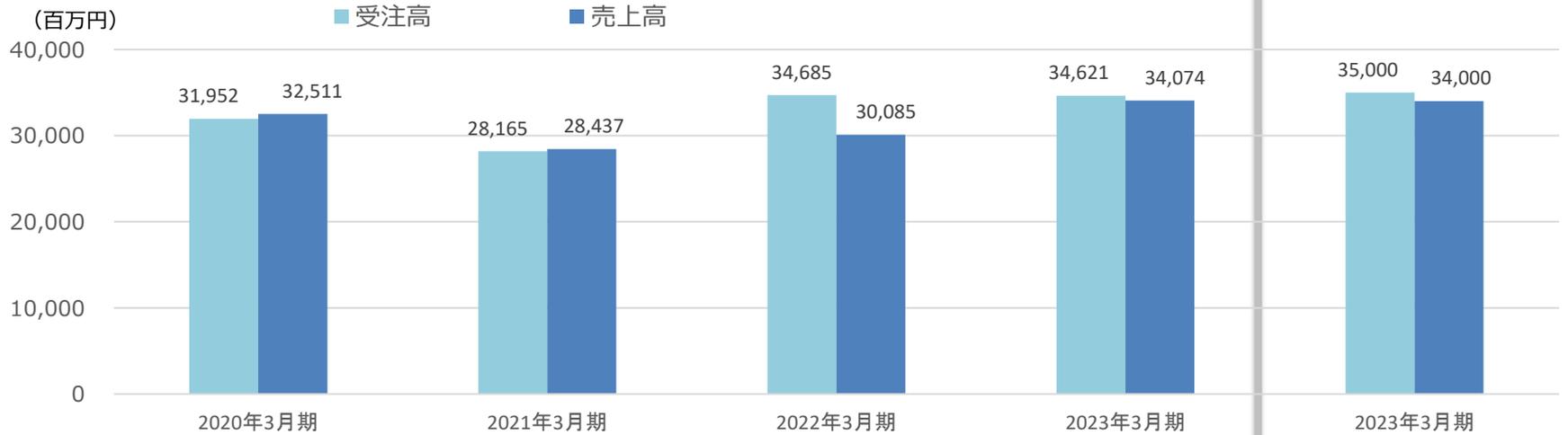
目次

- 前中期経営計画「**G-20**」の振り返り . . . 2
- 長期ビジョン CSR-SDGsビジョン . . . 8
- 新中期経営計画「**G-23**」の概要 . . . 12

前中期経営計画

「G-20」の振り返り

1-①. 「G-20」連結業績推移



実績

当初計画

G-17

G-20

G-20

1-②. 「G-20」連結業績推移

(百万円)

	G-17 最終年度	G-20					増減率 $\frac{B-A}{A}$
	2020年 3月期 実績 A	2021年 3月期 実績	2022年 3月期 実績	2023年 3月期		当初計画 達成率 B / C	
				実績 B	当初計画 C		
受注高	31,952	28,165	34,685	34,621	35,000	98.9%	8.4%
売上高	32,511	28,437	30,085	34,074	34,000	100.2%	4.8%
営業利益	2,274	1,409	1,819	1,912	2,720	70.3%	▲ 15.9%
営業利益率	7.0%	5.0%	6.0%	5.6%	8.0%	▲2.4pt	▲1.4pt
経常利益	2,573	1,765	2,270	2,392	2,920	81.9%	▲ 7.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,080	1,212	2,058	2,040	2,000	102.0%	▲ 1.9%
ROE	4.1%	2.3%	3.8%	3.7%	3.8%	▲0.1pt	▲0.4pt

(百万円)

1-③. 「G-20」連結業績(セグメント別)

	G-17 最終年度 2020年3月期		G-20 最終年度 2023年3月期				増減		
	実績	構成比	実績	構成比	当初計画	構成比	当初計画 達成率	増減額	増減率
熱交換器事業	12,368	38.7%	14,059	40.6%	13,200	37.6%	106.5%	1,691	13.7%
プロセスエンジニアリング事業	14,981	46.9%	15,536	44.9%	17,400	49.6%	89.3%	555	3.7%
バルブ事業	4,524	14.2%	4,934	14.3%	4,400	12.5%	112.1%	409	9.1%
その他	78	0.2%	90	0.3%	100	0.3%	90.8%	12	16.0%
小計	31,952	100%	34,621	100%	35,100	100%	98.6%	2,668	8.4%
調整額	—	—	—	—	▲ 100	—	—	—	—
受注高	31,952	—	34,621	—	35,000	—	98.9%	2,668	8.4%
熱交換器事業	12,041	37.0%	13,418	39.4%	12,800	37.5%	104.8%	1,376	11.4%
プロセスエンジニアリング事業	15,957	49.1%	15,869	46.6%	16,900	49.6%	93.9%	▲ 88	▲ 0.6%
バルブ事業	4,434	13.6%	4,696	13.8%	4,300	12.6%	109.2%	261	5.9%
その他	78	0.3%	90	0.3%	100	0.3%	90.8%	12	16.0%
小計	32,511	100%	34,074	100%	34,100	100%	99.9%	1,562	4.8%
調整額	—	—	—	—	▲ 100	—	—	0	—
売上高	32,511	—	34,074	—	34,000	—	100.2%	1,562	4.8%
熱交換器事業	887	37.3%	814	39.6%	1,200	41.5%	67.9%	▲ 72	▲ 8.2%
プロセスエンジニアリング事業	975	41.1%	833	40.6%	1,300	45.0%	64.1%	▲ 141	▲ 14.5%
バルブ事業	471	19.8%	339	16.5%	350	12.1%	96.9%	▲ 132	▲ 28.1%
その他	43	1.8%	66	3.3%	40	1.4%	167.4%	23	55.4%
小計	2,377	100%	2,054	100%	2,890	100%	71.1%	▲ 322	▲ 13.6%
調整額	▲ 103	—	▲ 142	—	▲ 170	—	84.0%	▲ 39	—
営業利益	2,274	—	1,912	—	2,720	—	70.3%	▲ 362	▲ 15.9%

※：増減は「G-17」2020年3月期と「G-20」2023年3月期の比較です。

2-①. 「G-20」主な取り組み(熱交換器事業、PE事業)

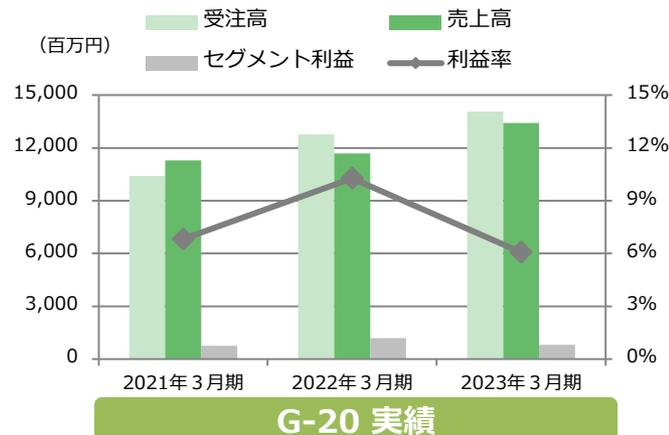
熱交換器事業

■ 主な取り組み

- ①カーボンニュートラル関連市場における幅広い分野において実績付け（CO₂回収設備、水素製造プラントなど）
- ②社外との協業によりラインアップを拡充。

■ 「G-20」期間中の業績

半導体、機械、空調、船舶など市況の回復を捉え、受注、売上は当初計画を達成。原材料高騰などにより利益は未達。



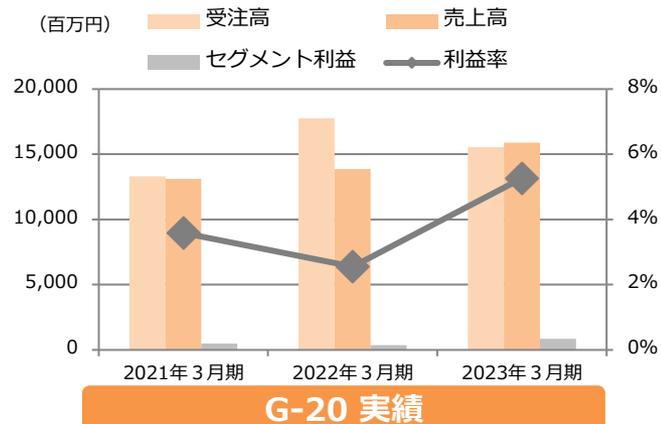
プロセスエンジニアリング事業

■ 主な取り組み ■

- ①コロナ禍においても海外を含む大型プラント案件を複数完遂。
- ②小松川化工機株式会社との協業による培養プラント納入、中国における漢方薬向け装置など医薬機器事業を強化。

■ 「G-20」期間中の業績

食品機器業界においてコロナ禍や世界的な食材価格高騰などの影響により設備投資が冷え込み伸び悩んだ。



2-②. 「G-20」主な取り組み(バルブ事業、全社)

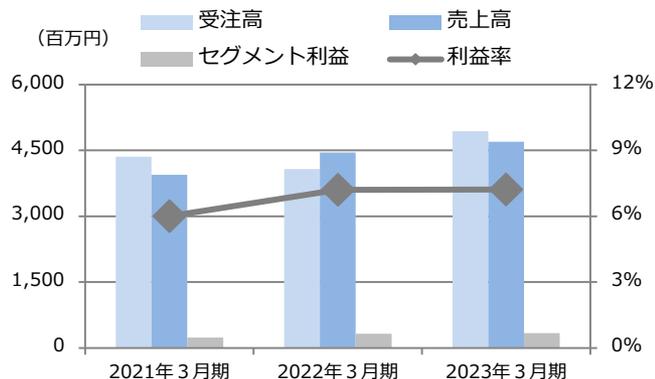
バルブ事業

■ 主な取り組み

- ①用途限定弁の販売を強化。
(半導体や二次電池など)
- ②営業拠点の拡充や代理店との関係強化により販売網を拡大。

■ 「G-20」期間中の業績

新型CV禍においても化学業界を中心として安定的に受注を獲得。当初計画を達成。



G-20 実績

全社

監査等委員会設置会社移行、指名・報酬委員会設置などコーポレートガバナンスの強化

モノづくり力強化（生産能力増強、生産性向上）を目的とした新工場「生駒事業所」の開設に向けた取り組み

長期ビジョン

CSR-SDGsビジョン

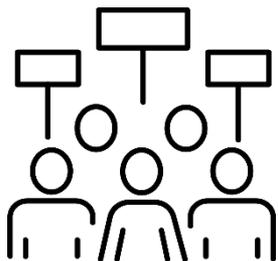
3-①. 長期ビジョン

長期ビジョン【2042年度（創業100周年）】

**流体の熱と圧力の制御技術を結集し、
エネルギー・水・食の明日(あした)を、お客様と共に支える企業になる**

価値の源泉

「総合力」を十分に
発揮できる
「組織」、「人材」



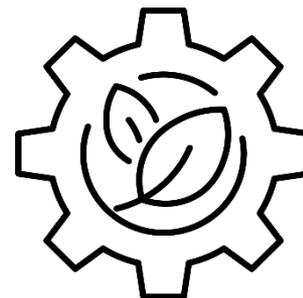
提供価値

「社会課題」を
解決する「総合力」



貢献分野

「社会課題」に
直面する
お客様、業界、市場

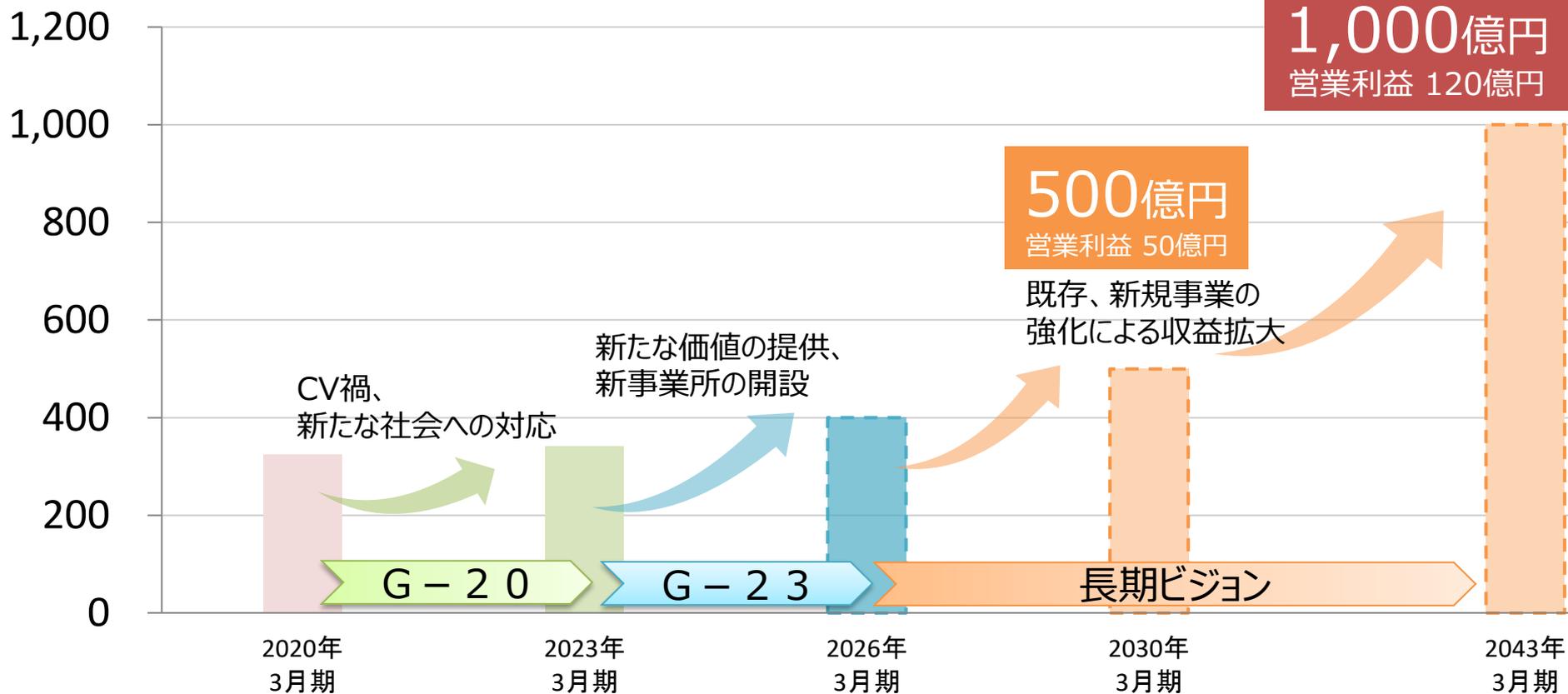


3-②. 長期ビジョン 連結業績目標

2043年3月期

売上高 1,000億円 営業利益 120億円

(億円)



4. CSR-SDGsビジョン

SDGs（持続可能な開発目標）を取り入れた企業経営により
自らが持つ総合力で社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献する。

①日阪グループの保有技術を活用したソリューションの提供により、顧客の課題及び社会課題が解決できる



②多様性（働き方、性別・国籍・障がい等を含む個性）を活かし、みんなが健康で活躍できる



③災害対応力の強い会社になる



④MOTTAINAI活動（Reduce：減らす、Reuse：繰り返し使う、Recycle：再資源化する）でCO2排出量削減ができる



⑤ガバナンス向上による成長と健全かつ適正な業務運営(コンプライアンス経営)ができる



⑥パートナーシップによる社会課題解決ソリューションの提供ができる



新中期経営計画

「G-23」の概要

5. 「G-23」ビジョン、スローガン

2023年度～2025年度 中期経営計画

G-23

Growth **Governance**
Global **Goal**

ビジョン

一人ひとりの挑戦で、事業の発展と共に 活力のある社員集団を実現する

スローガン

技術に想いをのせて いけ サステナブル社会の実現に向けて

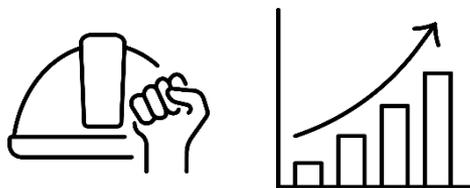
6. 「G-23」基本方針

重要課題（マテリアリティ）への対応

事業強化

新事業所の立ち上げ、
既存事業所の再構築

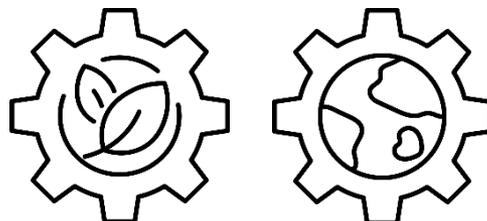
生産体制強化
収益基盤拡大



社会・環境課題へ貢献

新製品・サービス開発の
加速、新事業の探索

サステナブル社会への
貢献



人材育成・体制強化

ガバナンス強化と
ワークライフバランス充実

活力ある
社員集団の実現



E（環境）

- 持続可能な地球環境への貢献
- CO2排出量の削減

G（企業統治）

- 更なるガバナンスの強化
- ステークホルダーへの公平かつ公正な利益配分

S（社会）

- 活力ある社員集団の実現
- 地域社会とのつながり
- BCP運用と継続的な見直し

その他の課題

- 大型投資（新事業所開設、既存事業所再構築）
- 収益力の強化
- 新商品開発促進と新規事業の探索
- DX、デジタル技術の活用

7-①. 「G-23」 取り組み指針

様々な社会課題に対して当社の価値を提供し、持続可能な社会の実現に貢献する。

社会課題	環境	人口	経済	労働	食	医療
	・カーボンニュートラル ・異常気象、災害	・少子高齢化 ・途上国の人口急増	・インフレ ・ローライゼーション	・ダイバーシティ ・サステナビリティ	・食の安全 ・フードロス	・パンデミック ・介護、医療格差

提供価値	環境	安全・安心	便利・快適
-------------	-----------	--------------	--------------

「G-20」

ニーズに合わせた製品・サービスの開発

- 熱ソリューション
- 医薬品プラント
- 2次電池用製品等

現場革新活動 (HNPS※) の定着

ガバナンス強化

- 監査等委員会設置会社移行
- 指名・報酬委員会設置

生駒事業所建設

「G-23」 (新中期経営計画)

G-20からの施策を実行に移す

お客様のニーズに合わせた製品・サービス展開

- 熱ソリューション
- 食品ロス削減、食の安全
- 省エネソリューション
- ニーズ探索力・対応力強化
- 生駒事業所稼働
- 関係会社再編

製品・製造の標準化推進によるQCD改善

さらなる社会課題解決へ長期的な取り組み加速

カーボンニュートラル関連市場向け製品開発、採用拡大

鴻池事業所再構築 (生産体制強化)

新基幹システムの導入

サービスの革新

人材採用・育成・働き甲斐向上

長期ビジョン

「流体の熱と圧力の制御技術を結集し、エネルギー・水・食の明日 (あした) を、お客様と共に支える企業になる」

CSR-SDGsビジョン

「SDGsを取り入れた企業経営により自らが持つ総合力で社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献する」

社訓

「誠心(まごころ)」

社是

「世界に定着する日阪」
「豊かな人間性の追求」

創業100周年 (2042年度) 業績目標

売上高 1,000億円

営業利益 120億円

※HNPS : Hisaka New Production System

7-②. 「G-23」当社が取り組む領域

環境

脱炭素

ガス供給 吸収塔 35℃ リンアミン アミン-冷却器 再生塔 CO₂ 蒸気 110℃ 50℃ リンアミン 60℃ 100℃

食品ロス低減

未利用熱の活用提案

環境配慮型製品/省エネ製品

安全・安心

殺菌 (食品向け)

培養

滅菌 (医薬向け)

高品質 (食品・医療・半導体)

乳化 濃縮 バルブ

便利・快適

サービス拡充

メンテナンス まるごとぱっく

遠隔サービス (DX)

カスタマイズ対応

ニーズを汲んだ商品開発 チーム力対応力強化

OR

自動化対応

チョコ弁

お客様のニーズに合わせた事業展開

機器単体売りからソリューション提供へ 標準品の競争力強化

熱ソリューション

「ロケットエンジン」で未来を創造する The Thermal Solution Company

FA対応強化

ワンストップ対応 (ラインアップ拡充)

標準機種刷新 機種ごとの統廃合

設計標準化 品質強化

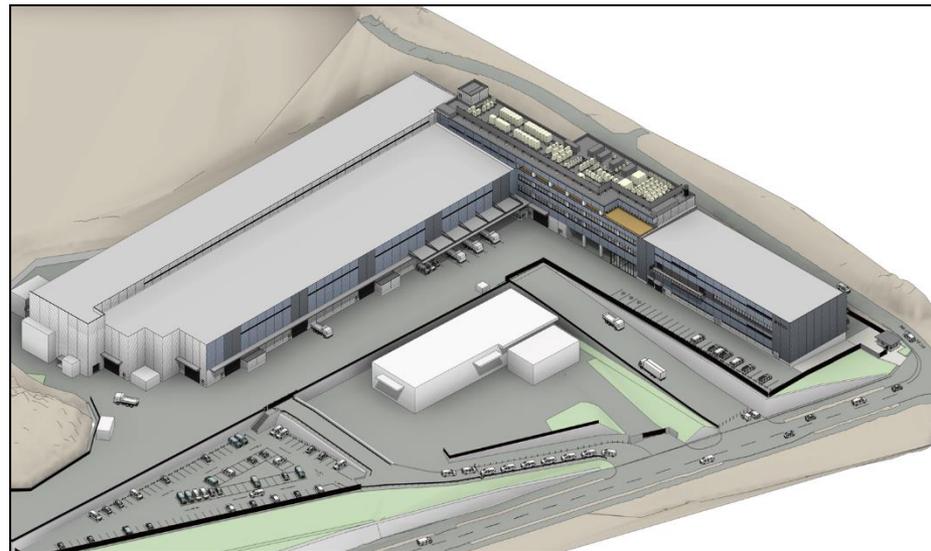
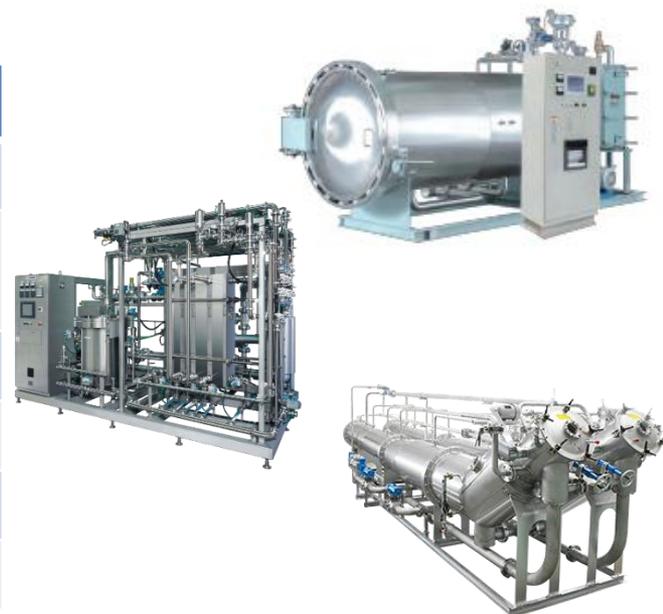
事業基盤の強化

- 生産体制強化
 - 生駒事業所開設
 - 鴻池事業所の再構築
- 販売体制強化
 - 人材育成
- 資本政策
 - サステナビリティ委員会
 - TCFDへの取り組み
- HNPS HISAKA NEW PRODUCTION SYSTEM

8-①. 大型投資(生駒事業所開設)

生産能力増強に向けて新工場を開設

名称	生駒事業所
所在地	奈良県生駒市
生産品目	プロセスエンジニアリング事業 (食品機器、医薬機器、染色機器)
面積	敷地面積 5.2万㎡ / 延床面積 2.4万㎡
稼働予定	2023年10月 ※2024年1月にかけて順次移設
人員数	約350名 ※フル稼働時、管理部門を含む
生産規模	約200億円



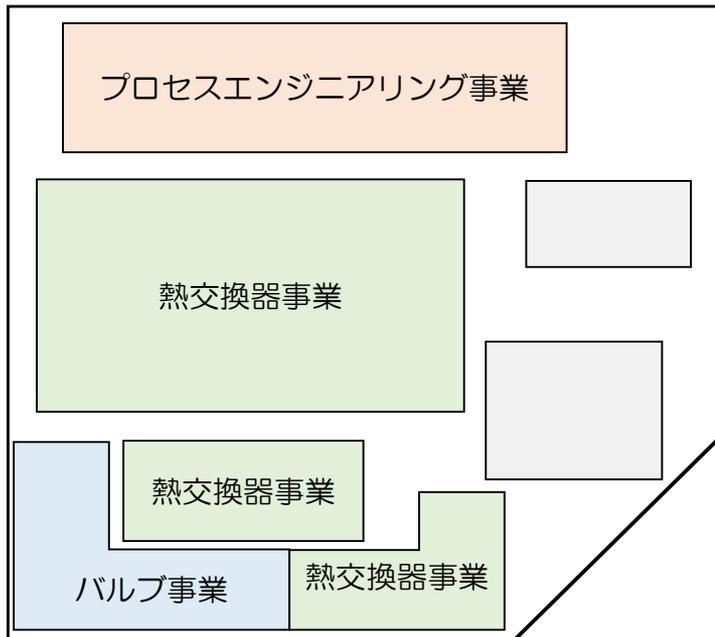
8-②. 大型投資(鴻池事業所再構築)

鴻池事業所の生産体制を強化

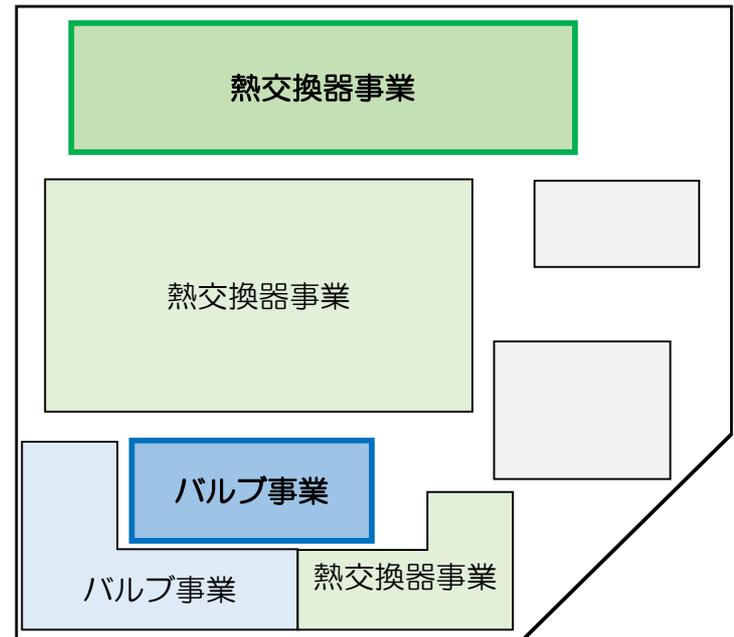
プロセスエンジニアリング事業の製造拠点を生駒事業所に移転し、空いたスペースで熱交換器事業とバルブ事業の生産体制を強化する。



●現在の鴻池事業所



●再構築後のイメージ



9-①. 熱交換器事業の取り組み

事業戦略

熱ソリューションの提供

- 熱に関する困りごとを解決する提案力の向上
- 熱交換器、周辺機器のラインアップ拡充

社会課題への貢献

- カーボンニュートラル関連市場への納入
 - ・ CO₂回収装置
 - ・ 水素製造設備
 - ・ バイオマス発電所 など

グローバル戦略

- グローバル生産体制構築による生産平準化とBCP構築。
- 海外メンテナンスサービス強化

大型投資

- 鴻池事業所の再構築
- 新基幹システムの導入



9-②. プロセスエンジニアリング事業の取り組み

事業戦略

エンジニアリング事業強化

- 複数の機器、前後工程などを組み合わせたプラントの設計、施工
- メンテナンス事業強化
- グループ会社再編（マイクロゼロ㈱、旭工業㈱）

社会課題への貢献

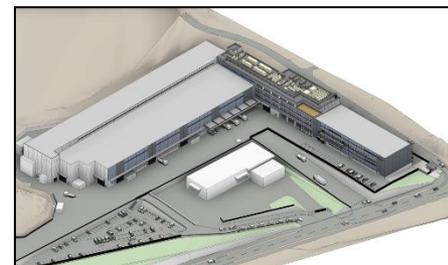
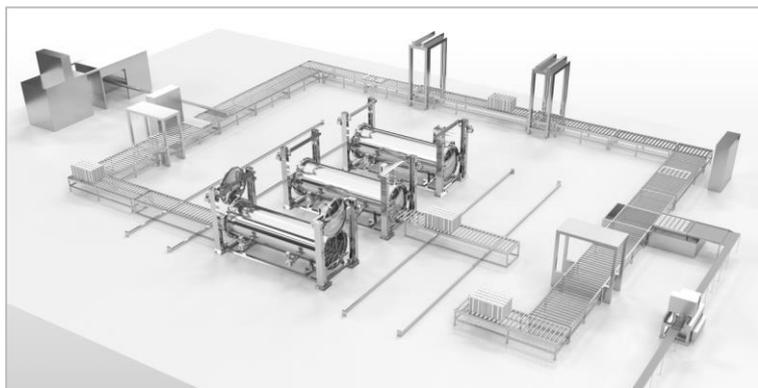
- 食品ロス削減・・・食品殺菌装置
- 医薬品安定供給・・・医薬品プラント
- 水資源保全・・・染色仕上機器などの開発、提供
- 省人化ニーズへの対応

グローバル戦略

- アジア圏向け食品機器・染色仕上機器
- 中国漢方薬向け医薬機器などの販売強化

大型投資

- 生駒事業所の稼働



9-③. バルブ事業の取り組み

事業戦略

顧客ニーズに寄り添う製品の拡充

- 用途限定弁（バルブ）のラインアップ強化

社会課題への貢献

- カーボンニュートラル関連市場への納入（2次電池など）

グローバル戦略

- 東南アジアでの販売強化（現地グループ会社、販売代理店との関係強化）

大型投資

- 鴻池事業所の再構築



10. 資本政策

- 株主への利益還元、強固な財務基盤の確保、戦略的投資をバランスよく考慮する
- 「R O E」を株主価値向上の重要指標とし、資本コストを上回る R O Eを目指す

株主への利益還元

- ◆ 連結業績を勘案しつつ **DOE 2.0%以上**※を
目途に配当を実施
⇒ **2024年3月期より
DOEの基準を
1.5%以上→2.0%以上へ
引き上げ。**
- ◆ 弾力的、機動的な
自己株式取得を実施

株主価値向上

効率的な資本政策で
資本コストを上回る
R O Eを目指す

戦略的投資

- ◆ 経営基盤の強化
→ 新事業所開設
新事業開発

強固な財務基盤の確保

- ◆ 財務体質の強化

11-①. G-23 連結数値目標

受注高

410 億円

売上高

400 億円

営業利益

36 億円

経常利益

38 億円

親会社株主に帰属する当期純利益

26 億円

営業利益率

9.0%

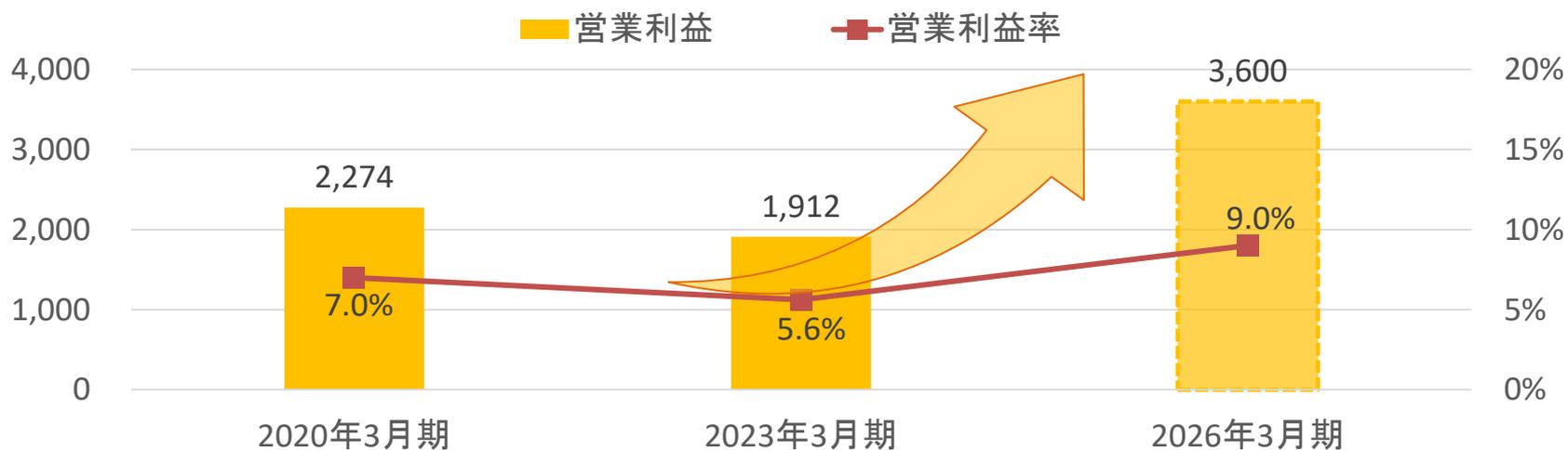
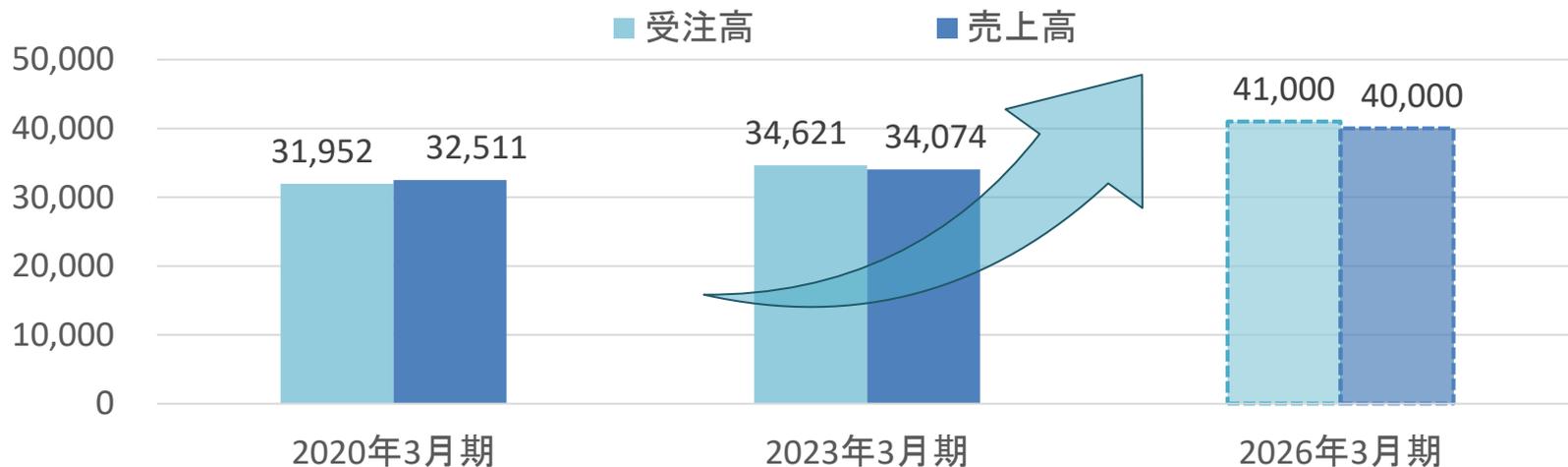
ROA (総資産経常利益率)

4.9%

ROE (自己資本当期純利益率)

4.5%

11-②. G-23 連結数値目標



11-③. G-23 連結数値目標

(百万円)

	G-17 最終年度 2020年 3月期 実績	G-20 最終年度 2023年 3月期 実績 A	G-23 最終年度 2026年 3月期 目標	増減率 $\frac{B-A}{A}$
	受注高	31,952	34,621	41,000
売上高	32,511	34,074	40,000	17.4%
営業利益	2,274	1,912	3,600	88.3%
営業利益率	7.0%	5.6%	9.0%	+3.4pt
経常利益	2,573	2,392	3,800	58.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,080	2,040	2,600	27.5%
ROE	4.1%	3.7%	4.5%	+0.8pt

(百万円)

11-②. G-23 連結数値目標

	G-20 最終年度 2023年3月期		G-23 最終年度 2026年3月期		増減	
	実績	構成比	目標	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	14,059	40.6%	15,800	38.5%	1,740	12.4%
プロセスエンジニアリング事業	15,536	44.9%	19,500	47.6%	3,963	25.5%
バルブ事業	4,934	14.2%	5,680	13.9%	745	15.1%
その他	90	0.3%	20	0.0%	▲ 70	▲ 78.0%
受注高	34,621	100%	41,000	100%	6,378	18.4%
熱交換器事業	13,418	39.4%	15,300	38.3%	1,881	14.0%
プロセスエンジニアリング事業	15,869	46.6%	19,000	47.5%	3,130	19.7%
バルブ事業	4,696	13.8%	5,680	14.2%	983	21.0%
その他	90	0.2%	20	0.0%	▲ 70	▲ 78.0%
売上高	34,074	100%	40,000	100%	5,925	17.4%
熱交換器事業	814	39.6%	1,800	47.3%	985	120.9%
プロセスエンジニアリング事業	833	40.6%	1,400	36.9%	566	67.9%
バルブ事業	339	16.5%	600	15.8%	260	76.9%
その他	66	3.3%	0	0.0%	▲ 66	▲ 100.0%
小計	2,054	100%	3,800	100%	1,745	84.9%
調整額	▲ 142	—	▲ 200	—	▲ 57	—
営業利益	1,912	—	3,600	—	1,687	88.3%

<お問い合わせ先>

(株)日阪製作所 経営企画本部 経営戦略部

WEB : <https://www.hisaka.co.jp>

e-mail : ir@hisaka.co.jp

TEL : 06-6363-0015

〒530-0057

大阪市北区曾根崎2-12-7 (清和梅田ビル20階)



ひ さ か
株式会社 日阪製作所

～ロゴマークの由来～

日本の「日」とステンレス (STAINLESS) の「S」を組み合わせてデザインした。また、丸い形は成熟を表しており、豊かな人間性をもって社員と製品がともに成熟していくようにという願いを込めている。

～社名の由来～

日本の中でも商いの町の代名詞である大阪のような活気あふれる会社になりたいとの願いを込めて、日本の「日」と大阪の「阪」をとり、「日阪製作所」と命名した。

(注) 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想に達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合を確認し、利用者の判断によって行っていただきますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。